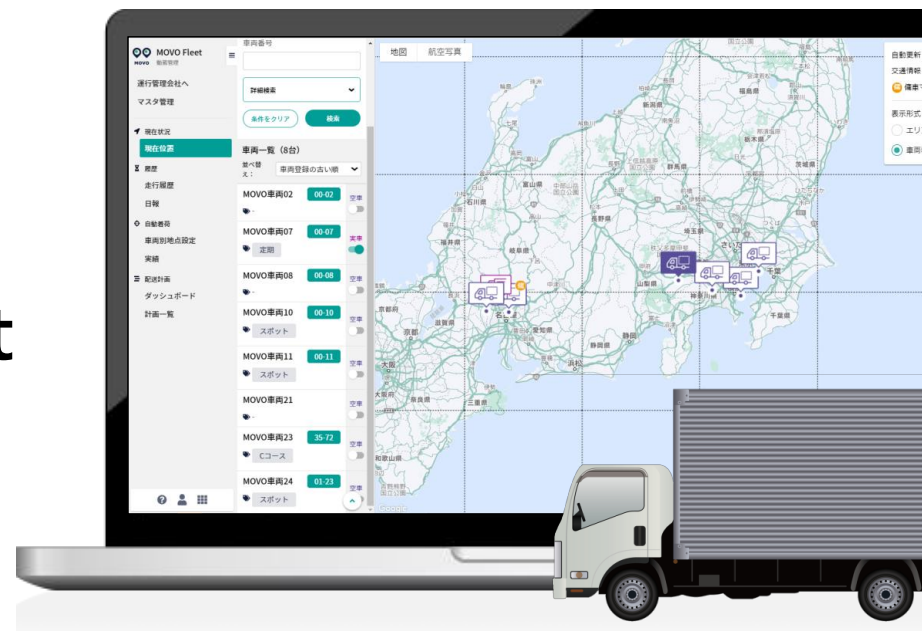




車両管理の効率化で

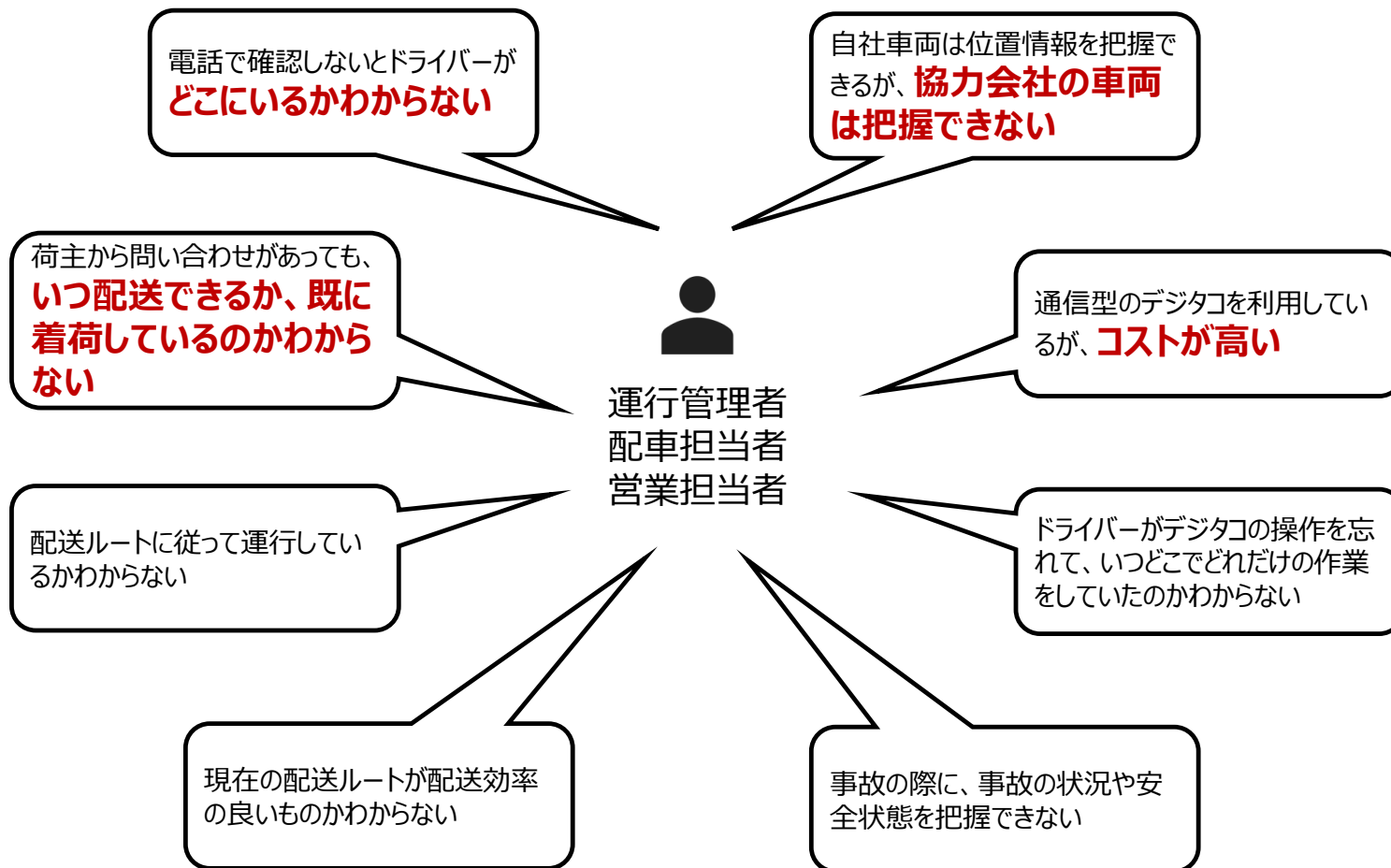
荷主と運送会社双方の**コスト削減**を支援

動態管理サービス MOVO Fleet



Hacobu

以下の状況が1つでも当てはまれば、車両管理業務の見直しが必要かもしれません



- 物流業界に特化し、業務に適した豊富な機能を低価格でご提供
- 個社の中に閉じないオープンな仕組みで、荷主・運送会社・配送先での情報共有を可能に

GPSトラッカー

ムーボ・スティック

OBD給電



シガー給電



結線型



GPS機能付き通信型 ドライブレコーダー

ムーボ・アイ

シガー給電



お持ちのトラックが日野コネクティッド車両であれば、後付けの端末すら不要となります



GPSが搭載されている日野コネクティッドトラックなら、端末の装着なしでMOVO Fleetの利用が可能です。2017年5月以降に販売されたプロフィア/大型車、2017年5月以降のレンジャー/中型車、2019年5月以降のデュトロ/小型車が対象となります

日野自動車のコネクティッドトラックで、Hacobuの動態管理サービス「MOVO Fleet」利用可能に 専用プランを10月1日提供開始

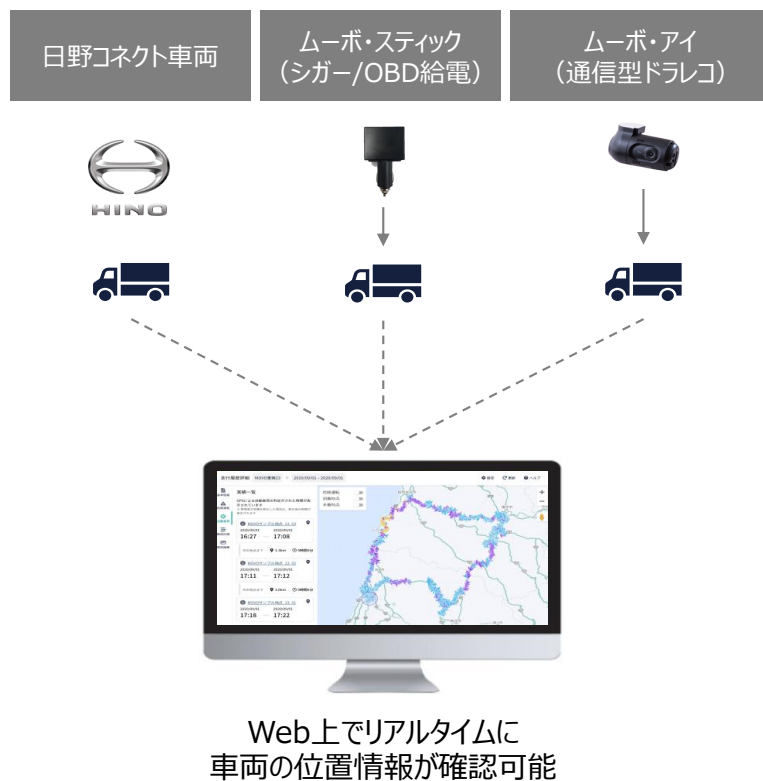
株式会社Hacobu（ハコブ、本社：東京都港区、代表取締役社長CEO 佐々木太郎、以下「Hacobu」）が提供する動態管理サービス「MOVO Fleet」が、日野自動車株式会社（本社：東京都日野市、代表取締役社長 下義生、以下「日野」）のコネクティッドトラックで利用可能になり、専用プランの提供を2020年10月1日（木）より開始いたします。



動態管理サービス MOVO Fleet (ムーボ・フリート) の機能一覧



GPS端末を車両に装着するだけで（日野コネク特車両は装着不要）、車両管理を効率化し、荷主と運送会社双方のコスト削減、生産性向上を支援するサービスです



現在位置情報		5秒に1回の位置情報取得（日野コネク特車両は1分に1回）で、正確な現在位置を確認できるため、急な配送指示や問合せ対応が楽になる
配送計画ダッシュボード		計画に対する実績、遅れをダッシュボード上で可視化。また、運行状況は配送先でもシステム画面上で確認でき、遅れる場合はメールでアラート
自動着荷記録		地点ごとの認識半径距離を登録することで、着荷したか否かをGPS情報から自動で判定し、配送完了を確認。待機実績も可視化できる
運転日報作成		日報は自動生成または手動生成が選択でき、現場の業務にあわせた使い方が可能
走行データ確認		過去の走行データが蓄積されるため、配送効率改善のためのダイヤ変更や配送ルート見直しにつなげることができる

MOVO Fleetの特長：物流に特化した機能



走行実績だけでなく、配送先地点での入出時間を自動で記録し、運行以外の作業・待機時間を可視化

自動地点認識（ジオフェンス）機能



ドライバー専用 モバイルコントローラ



【参考】2024年問題と求められる協力会社管理の体制強化

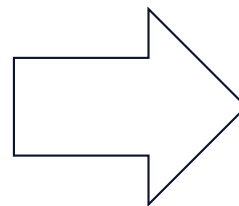
- 働き方改革関連法案（「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」）の猶予期間5年が終了する2024年4月から、ドライバーにも年間残業時間上限960時間の規制が設けられる
- また、改正運送約款により荷役料や待機料等の細分化が求められ、改正貨物自動車運送事業法の中でも乗務記録の対象として義務化された。荷主や元請けとしては、使用者として自社だけでなく協力会社も含めた管理体制強化が必要となる

改正前

運賃 ※内訳が不明瞭	運送
	荷積み荷降ろし
	待機時間
	付帯作業

改正後

運賃	運送
料金	荷積み荷降ろし
	待機時間
	付帯作業



MOVO Fleetの特長：オープンな仕組み



荷主や配送先から到着予定時刻や車両位置を確認できるオープンな仕組みにすることで、問合せ対応業務の無駄をなくし、業務効率化を実現できる



MOVO Fleetの特長：オープンな仕組み



荷主、運送会社、配送先それぞれがシステム画面上で運行状況を確認できる。迅速な状況把握と円滑なオペレーションを支援するため、出発後、遅延見込み、到着前後のタイミングでのメール通知も可能

The screenshot shows the MOVO Fleet interface. On the left is a sidebar with navigation options like '現在位置' (Current Location) and '配送計画' (Delivery Schedule). The main area displays a map of Japan with several vehicle icons. A popup window for 'MOVO車両22' is open, showing details for a driver and a customer. Red callout boxes highlight specific features:

- 「ドライバー連絡先などの詳細情報を確認」 (Check detailed information such as driver contact details)
- 「車両の位置を一目で確認」 (Check vehicle location at a glance)

The popup window contains the following information:

- MOVO車両22
- 宮城県仙台市太白区郡山7丁目1-5 9
- 走行履歴を確認
- ドライバー: Hacobuドライバー (090-9999-9999)
- 儲車先: Hacobu運送 (03-9999-9999)
- 車両番号: -
- 車両名: MOVO車両22
- 所属部門: MOVOサンプル株式会社
- GPSトラッカー: MOVO EYE

The screenshot shows the '配送計画一覧' (Delivery Schedule Overview) screen. It features a summary of delivery items and a detailed schedule table. Red callout boxes highlight specific features:

- 「配送先として登録された箇所のみが確認でき、遅延見込みの場合はメールでアラートが届く」 (Only registered destinations can be confirmed, and email alerts are sent in case of delays)

The summary shows 120 total items, with 40 pending, 40 delayed, and 40 completed. The schedule table below shows delivery details for various locations (地点1 to 地点4) on 2020/03/10, including vehicle numbers, arrival/departure times, and driver names.

ユーザー	導入前の課題	解決方法	導入効果
メーカー	各協力会社から運転日報を受け取り、納品確認・配送ルート確認を行っていたが、 集計に時間がかかっていた	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 委託している協力会社の車両にムーボ・スティックを取り付け、運行実績はシステム画面ですべて確認 	<ul style="list-style-type: none"> 業務工数削減 各種実績集計時間 50%削減 配送効率化 ルート見直し後配送効率 20%改善
卸売	自社車両はデジタコで動態管理をしていたが、 備車は各協力会社に電話での確認を入れなければならなかった	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 備車は簡単に抜き差し可能なムーボ・スティックを取り付け、電話で問い合わせることなくシステム画面で配送状況を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 業務工数削減 備車への電話問合せ数 80%削減
3PL	荷主から配送状況に関する問合せが多く、 対応業務がひっ迫していた	<ul style="list-style-type: none"> ✓ システム画面で車両の現在地を確認し、即座に現在地と到着予定時刻を回答 ✓ 配送計画がある案件は、荷主に遅延アラートを通知 	<ul style="list-style-type: none"> 業務工数削減 荷主からの電話問合せ数 60%削減
運送会社	通信型デジタコで動態管理を行っていたが、 車両台数の増加に伴い高い通信コストに悩んでいた	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 通信型デジタコの通信契約を切り、ムーボ・スティックを導入して動態管理を実施 	<ul style="list-style-type: none"> コスト削減 動態管理コスト/月 30%削減

①導入事例：レオックフーズ（荷主）



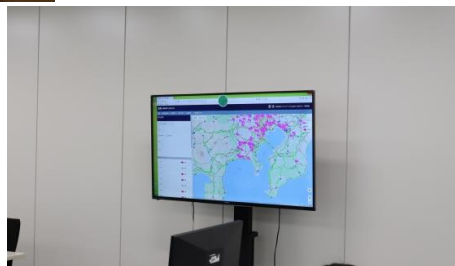
納品先でも配送状況が確認できる仕組みで、顧客満足度が向上 問合せ対応の時間も半減し、災害時も配送状況が即座に把握できるように

会社・事業所/導入拠点名：

株式会社レオックフーズ 全国の物流センター10か所

事業内容：病院・社会福祉施設・学校等へのフードサービスの提供、
給食食品の製造・販売・配送（業務用食品卸）

車両台数：450台（協力会社車両）



詳しい内容はこちら：https://movo.co.jp/case_study/1074

導入の背景

- きっかけは2014年の大雪。配送状況が乱れたばかりでなく、状況把握に大変な時間を要した。物流会社やドライバーに問い合わせをするも電話が繋がらず、知らないうちに到着しているという事態も起こった
- 荷主である当社も物流に関する状況把握はしておかなければならないと考えようになった

MOVOを選んだ理由/導入時のポイント

- 一般向けの動態管理システムは物流には適していなかった。ムーボには運送会社だけでなく、荷主にとっての使いやすさが考えられた画面や機能があった
- ムーボ・スティックを装着していただくために、お客様の元へ迅速に商品を届けるという目的のために行うことを協力会社一社一社に丁寧に説明した

導入後の効果

- 配送先通知機能を利用し、配送先にも専用URLを取得いただいてシステム画面から位置情報を確認できる設定を行っており、「わざわざ問合せをしなくても配送状況を確認できるので助かる」という声をいただいている
- コールセンターで受ける配送に関する問合せも一部あるが、以前は15分程度要していたが一回の電話で済むようになり、電話対応にかかる時間が半減した

②導入事例：豊田自動織機（荷主）



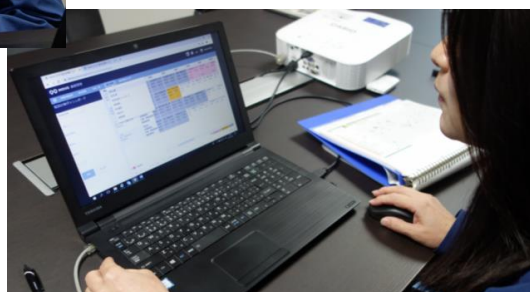
情報収集のデジタル化によって、毎月のタイヤ検証にかかる時間が半減。タイヤ変更による残業代低減、運行距離低減につながっている

会社・事業所/導入拠点名：

株式会社豊田自動織機 名古屋地区・小牧地区の調達物流便

事業内容：フォークリフト、カーエアコン用コンプレッサー、エアジェット織機等の製造

車両台数：37台95便（協力会社車両）



詳しい内容はこちら：https://movo.co.jp/case_study/1035

導入の背景

- 各工場でのモデルチェンジや毎月の荷量変動に合わせて、同乗調査やタコグラフの情報をもとに、月に3～7台の運行タイヤの変更を行っている
- しかし、タコグラフ情報の取り寄せや到着時間に関する問合せに、協力運送会社側で迅速に対応してもらえないことが増え、そもそもアナログタコグラフ自体の発着時間がわかりづらく、確認に時間がかかるといった問題も発生していた

MOVOを選んだ理由/活用時の業務フロー

- 3社比較の結果ムーボの導入を決定した。必要かつ十分な機能が揃っており、費用が安いことも魅力
- タイヤ変更時には輸送会社にムーボ・スティックを渡し、配送計画機能を使って検証している。配送計画ダッシュボードの画面は、タイヤとの差異をリアルタイムで確認できるので助かっている

導入後の効果

- 毎月のタイヤ検証にかかる時間が12時間から6時間に半減
- 「ある地点での作業時間が予定よりも早まっている」という場合、輸送会社にヒアリングの上、作業時間のタイヤを短縮し全体の運行終了時間も早めることで、残業代を低減。反対に「ある地点への到着が遅れている」状況では、非効率なルートでの輸送が判明、運行距離低減のための見直しを行うことができた



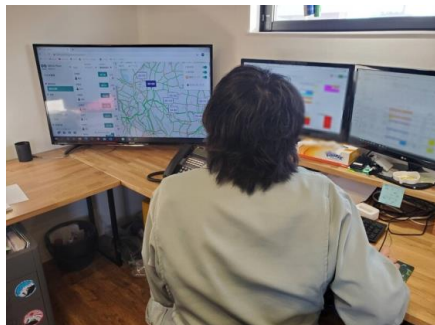
日野コネクプランを利用し、半分以下のコストで車両の回転率は25%アップ 端末の装着なしでドライバーにとってストレスのない導入が可能に

会社・事業所/導入拠点名：

吉田運送株式会社

事業内容：茨城県、栃木県でインランドデポ運営。コンテナラウンドユースを中心とした輸送（ショートドレー、ロングドレー）

車両台数：17台（自社車両）



詳しい内容はこちら：https://movo.co.jp/case_study/1944

導入の背景

- 導入前はGPS搭載の営業無線を利用し、位置情報を取得していた
- しかし、連絡手段は携帯電話に切り替わっていたため無線自体は使用しておらず、位置情報取得のみのサービスとしては費用が高いと感じていた
- そんな折、日野コネク車両で動態管理ができるプランが発売されると知った

MOVOを選んだ理由

- 月額900円という手頃な価格と、MOVO Fleetの画面のわかりやすさ
- サービス選択においては、位置情報を取得していることをドライバーが意識する必要がない仕組みであることも重要。日野コネクプランの場合は新たに機器を取り付けるなど車両側に変更を加える必要がなく、ドライバーが「見られている」というストレスを感じることなく導入できる点が良い

活用時の業務フロー/導入後の効果

- 配車担当が次はどのコンテナをピックアップするか、車両の現在位置と荷主の情報を考慮しながら判断し、ドライバーに指示。また、インランドデポではどの車両が今デポに向かっているか確認しながら、インランドデポ内のコンテナを動かしている
- 一日のショートドレー回転数が4回から5回に増えた。一方で、以前のサービスと比較するとコストは半額以下に下がった



ドライブレコーダーも含めた動態管理の一元化に成功 配車担当者の業務量は3分の2以下に削減

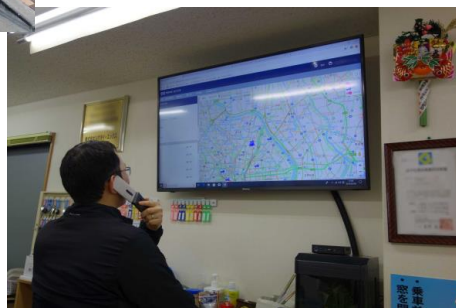
会社・事業所/導入拠点名：

株式会社シゲタイエックス

事業内容：東京都内をメインに一般貨物と軽貨物を扱う運送会社。

案件の6-7割はスポット運送

車両台数：21台（自社車両）



詳しい内容はこちら：https://movo.co.jp/case_study/607

導入の背景

- スポットの仕事が多く、案件を受けたタイミングで車がどこにいるかは非常に重要。ムーボを導入する前はすべての車にスマホを置いて管理していたが、古い機種でサポート対象外になってしまうものもあり、メンテナンスが大変だった
- また、ドライバーに充電が切れていないかなども気にしてもらっていたので、通常業務外で余計な負担をかけてしまっていた

MOVOを選んだ理由

- ①クラウドで管理ができる、②スマホ等機器が必要ない、③GPSトラッカー、ドライブレコーダーすべてがOBDポートやシガーソケットに刺すだけで使える
- ドライバーは管理されることになるので心理的にはマイナスで、更に手間がかかると余計に嫌がるはずだが、必要な端末をトラックに刺すだけで使えて、ドライバーが通常業務に追加の作業なく使用できるというのは大きかった

活用時の業務フロー/導入後の効果

- 配車担当2人がモニターで位置情報を確認し、問合せがあった際、その場でお答えできるようになった。業務量は3分の2以下になっている
- ドライブレコーダーも利用している（次項参照）が、同じ画面で位置情報を確認している。通信型なので、自分の欲しいタイミングの画像を取得でき、事故があった時に肝心の部分の画像が取れていない、ということもなくなった

ムーボ・アイ（通信型ドライブレコーダー）利用時の画像取得イメージ



「取得画像」のタブをクリックすると、手動で取得したドライブレコーダーの画像を確認できます

The screenshot displays the MOVO app interface. On the left, there is a sidebar menu with options like '基本情報', '危険運転', '自動寄符', and '取得画像'. The '取得画像' (Image Capture) tab is selected. The main area shows a map with a driving route and a speed log at the bottom. A callout box points to the '取得画像' tab, another points to a list of image capture events, and a third points to a '画像を取得' (Capture Image) button on the map. A fourth callout points to a preview window showing a camera view.

取得日時	状態	操作
2020/07/28 00:42:07	画像取得済	📷
01:03:28	画像取得済	📷
01:11:12	画像取得済	📷
08:01:42	画像取得中	📷

取得済み/取得中の画像の情報を確認できます

取得済みの画像は画像アイコンをクリックすると確認できます

地図上の走行位置のプロットをクリックし、「画像を取得」をクリックすると、ドライブレコーダーの画像を取得することができます

①お打合せ（1～2回程度）

②ご契約（見積書兼発注書へ署名・捺印の上、メールにてご返信ください）

③製品送付（郵送にて発送いたします）

④製品到着・設置（設置にあたりご不明点はサポートいたします）

⑤運行・利用開始

①お打合せ（1～2回程度）

②お申込（車台番号をシステム画面上で登録ください）

③利用可否のご回答（GPSが有効か確認を行うため約1週間を要します）

④ご契約（利用可となった場合は、自動的に契約が開始いたします）

⑤運行・利用開始

端末レンタルなら、初期投資不要
ID発行費やライセンス費用などは一切かかりません

	ムーボ・スティック (GPSトラッカー)	ムーボ・アイ (GPS機能付き通信型ドラレコ)	日野コネクトプラン (GPS搭載)
端末タイプ	OBD/シガー/結線型 	シガー型 	
端末レンタル +システム利 用料	1,780円/台・月	2,480円/台・月	900円/台・月
導入費用	5万円/拠点		2,000円/台

※ムーボ・アイ用のSDカードは別途3,500円にてご購入ください
 ※ムーボ・アイを結線にて装着する場合は、別途コネクターをお求めください
 ※上記価格はすべて税別価格です

端末購入なら、システム利用料のみ月額で支払
ID発行費やライセンス費用などは一切かかりません

	ムーボ・スティック (GPSトラッカー)	ムーボ・アイ (GPS機能付き通信型ドラレコ)
端末タイプ	OBD/シガー/結線型 	シガー型 
端末価格	<ul style="list-style-type: none"> 1-50台：40,000円/台 51-100台：35,000円/台 101-200台：33,000円/台 201台～：30,000円/台 	<ul style="list-style-type: none"> 1-50台：42,000円/台 51-100台：37,000円/台 101-200台：35,000円/台 201台～：32,000円/台
システム利用料	1,480円/台・月	
導入費用	5万円/拠点	

※ムーボ・アイ用のSDカードは別途3,500円にてご購入ください
 ※ムーボ・アイを結線にて装着する場合は、別途コネクターをお求めください
 ※上記価格はすべて税別価格です

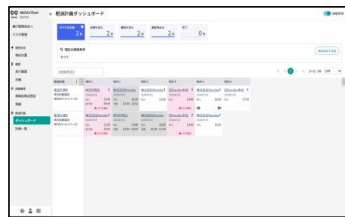
料金体系（オプション機能）



各プランとも、1-20台：5,000円、21-50台：10,000円、51-100台：20,000円の追加月額料金でご利用いただけます
（101台以上の場合は個別にご相談ください）

配送計画プラン

配送計画地点への
到着予定予測・遅延見込み通知



配送計画の配送先毎に
メール通知・リアルタイムデータ共有



通知先毎に出発・到着時のメール通知
を行い、専用URL対象車両のリアルタイムの運行状況を共有できます



ドライバーサポートプラン



スマートフォン用
モバイルコントローラ

配送計画や配送先の軒先条件をドライバーに共有。
作業実績登録を行えば、日報情報として記録

計画詳細



地点詳細



作業選択



作業中・作業終了



安全運転管理プラン （ムーボ・アイのみ）

危険運転イベント検知時のメール通知



危険運転概要			
速度超過	9回	0時間14分	
急ブレーキ	3回	事故の疑い	4回
衝撃検知	8回	緊急通知	3回
急ハンドル	1回		



日報での安全運転評価

安全運転情報

種別	時間	回数	評価
速度超過	1時間0分	47	82 B
急加速	-	3	85 B
急ブレーキ	-	0	100 A
急ハンドル	-	21	0 E
衝撃検知	-	0	100 A
事故の疑い	-	1	90 A



ライナロジクス社との連携



LYNAクラウドで作成した配車計画をMOVO Fleetに連携し、車両の動態管理まで一気通貫での管理が可能になりました。初期費用100,000円、月額4,000円でご利用いただけます

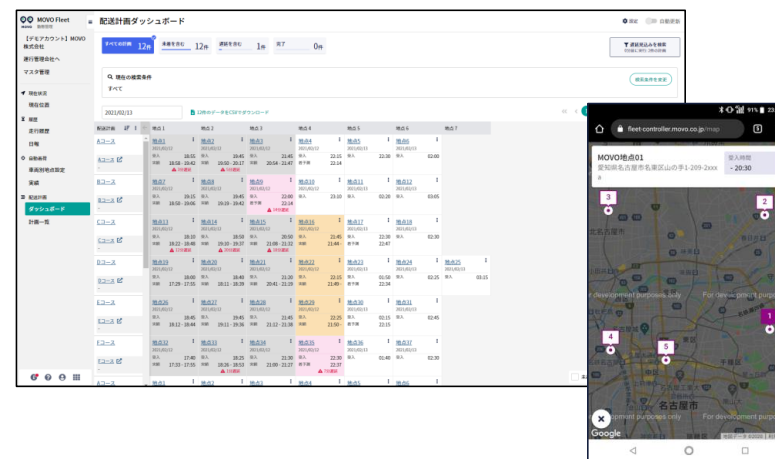
LYNA 自動配車クラウド



自動配車で作成した配車計画を
MOVO取込フォーマットに出力

配車計画
アップロード

MOVO Fleet



LYNAで組んだ配車計画とその進捗を
管理者のパソコンやドライバー携帯で参照

2週間
無料お試しも
受付中！

サービスへのご質問はお気軽に
お問い合わせください

<https://movo.co.jp/contact>

- 企業名
- 設立
- ミッション
- 業務内容
- 加盟団体
- URL

株式会社Hacobu

2015年6月30日

「運ぶを最適化する」

ロジスティクスクラウド MOVOの開発・運営
貨物利用運送事業

経団連

<https://movo.co.jp/>

Hacobuは「運ぶを最適化する」をミッションとして掲げ、社会問題に真剣に向き合い、お客様の現場と共に新しい物流を作るべく、2015年に創業しました。

そして、move（モノの移動）× optimization（最適化）から、MOVO（ムーボ）というサービス名が生まれました。

データにより事実を共有し、建設的に解決策を考える「Data-Driven Logistics」というビジョンを掲げ、新しいロジスティクスの在り方に挑戦してまいります。



CORE VALUE

コアバリュー

Solve Social Issues.

社会課題を解決する

山積する物流業界の課題を解決することがSDGsに繋がる



トラック運転手の年間労働時間

全産業より **400時間多**



トラックの平均的な積載率

38%



トラックの1運行あたりの待機時間

約3割が **2時間超**



在庫廃棄・食品ロス

年間 **22兆円**